

体育大会 開催！ 心を一つに！

10月9日（金）、素晴らしい秋空のもと、体育大会を開催することができました。

体育大会当日までは雨の日が多く、各学級・学年での練習も思うようにいかないこともありましたが、前日の予行そして本番と、生徒たちは見事に力を出し切ってくれました。

吹奏楽部の演奏による力強い行進。3年生体育委員の熱い思いがこもった開会宣言と選手宣誓。全校生徒によるラジオ体操。それぞれの迫力に、会場みなさんも感動されていました。そして、競技が進むにつれて、生徒たちのボルテージも上がり、応援席からの声援も次第に大きな声へ。会場全体が温かい雰囲気になっていきました。

午後の部活動行進では、各部活動が工夫を凝らしたパフォーマンスを見せてくれ、会場を大いに沸かせました。また、学年種目では、心をつなぐ思いが伝わり、学年のまとまりを感じる事ができました。最後の閉会宣言も素晴らしかった。私が開会式のあいさつで「プレーも全力、応援も全力」「みなさんの力で最高の体育大会にしましょう」と言ったことを見事に達成してくれました。本当に、感動をありがとうございました。

体育大会で見せてくれた各学級や学年のまとまり、そして熱量があれば、今月末の合唱コンクールや文化発表会も必ず素晴らしいものになると信じています。一人ひとりの力で、最高の行事を作りあげてを心から楽しみにしています。

第80回「読書週間」 今年の標語は「静かだけど、冒険中。」です

終戦間もない1947年、まだ戦火の傷あとがいたるところに残っている中で、「読書の力によって、平和な文化国家を作ろう」という決意のもと、出版社、書店、公共図書館、そして新聞・放送のマスコミ機関も加わって11月17日から第1回「読書週間」が開催されました。そのときの反響は素晴らしく、翌年の第2回からは期間も10月27日～11月9日（文化の日を中心とした2週間）と定められ、この運動は全国に広がっていきました。

今年の4月に3年生を対象に行われた全国学力・学習状況調査。その生徒質問紙に「学校の授業時間以外に、普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか」の項目がありました。本校の3年生で「全くしない」と回答した人の割合は48.9%（ちなみに全国の平均は40.7%です）でした。つまり、およそ半数の人が読書の習慣がないということ。本好きな私からすれば、この結果はなんとも悲しい…。しかしながら、7月のアンケートでは「私は読書が好きです」の項目に肯定的な回答をした人の割合は、なんと86%！ということは、本を読むことが好きという人はたくさんいるけれど、本を読む機会がなかなかないということなのかも。

昨今はスマホなど電子媒体が普及したこともあり、子どもたちの「本」離れが進んでいるとかいないとか。俳優の芦田愛菜さんは幼少期から本に親しみ、本を「自分の世界を広げてくれる存在」「登場人物の経験が自分の中に積み重なり、土台となるもの」と語っています。読書を通して、自分では経験できない時代や価値観に触れられたり、語彙力や論理的思考力が身に付いたり、読書にはさまざまな「いいこと」があるとも言われます。「読書週間」をきっかけに、お気に入りの一冊を見つけてみてはいかがでしょうか。ぜひ、図書館へ！